

(仮称) 坂出市学校給食センター整備運営事業における審査講評について

坂出市は、(仮称) 坂出市学校給食センター整備運営事業にかかる、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(平成 11 年法律第 117 号) 第 11 条第 1 項の規定による客観的評価の結果について、(仮称) 坂出市学校給食センター整備運営事業事業者選定委員会の審査講評を公表します。

令和 2 年 12 月 18 日

坂出市長 綾 宏

(仮称) 坂出市学校給食センター整備運営事業

審査講評

令和2年12月18日

坂出市

第1 事業者選定の体制

坂出市（以下「市」という。）が設置した（仮称）坂出市学校給食センター整備運営事業に係る PFI 事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）が、事業者選定基準に関する審議並びに参加者より提出された提案資料の審査を行い、最優秀提案者を選定した。

なお、選定委員会の構成は次に示すとおりである。

役 職	氏 名	所 属 等
委員長	吉長 成恭	国立大学法人広島大学大学院人間社会科学研究科 客員教授
委員	中山 哲士	岡山理科大学 工学部 建築学科 准教授
委員	中尾 しのぶ	元栄養教諭
委員	加藤 悟史	坂出市副市長
委員	國重 英二	坂出市教育長

第2 事業者ヒアリング・提案説明および総合評価について

実施概要は下記のとおりである。

実施日：

令和2年10月27日

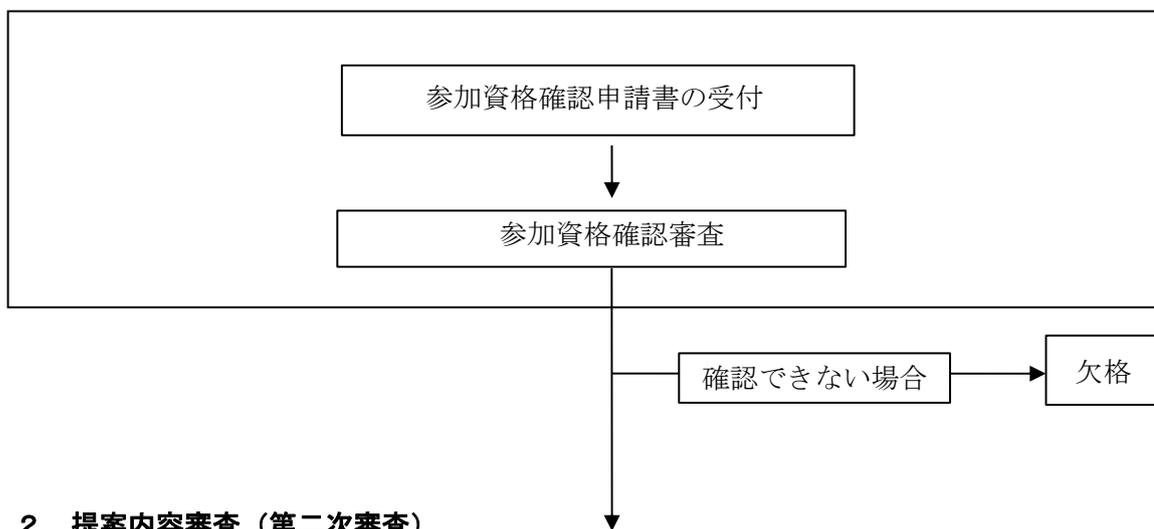
主な内容：

提案書に関する意見交換，事業者への質問事項の確認，事業者ヒアリング，総合評価，最優秀提案者の決定

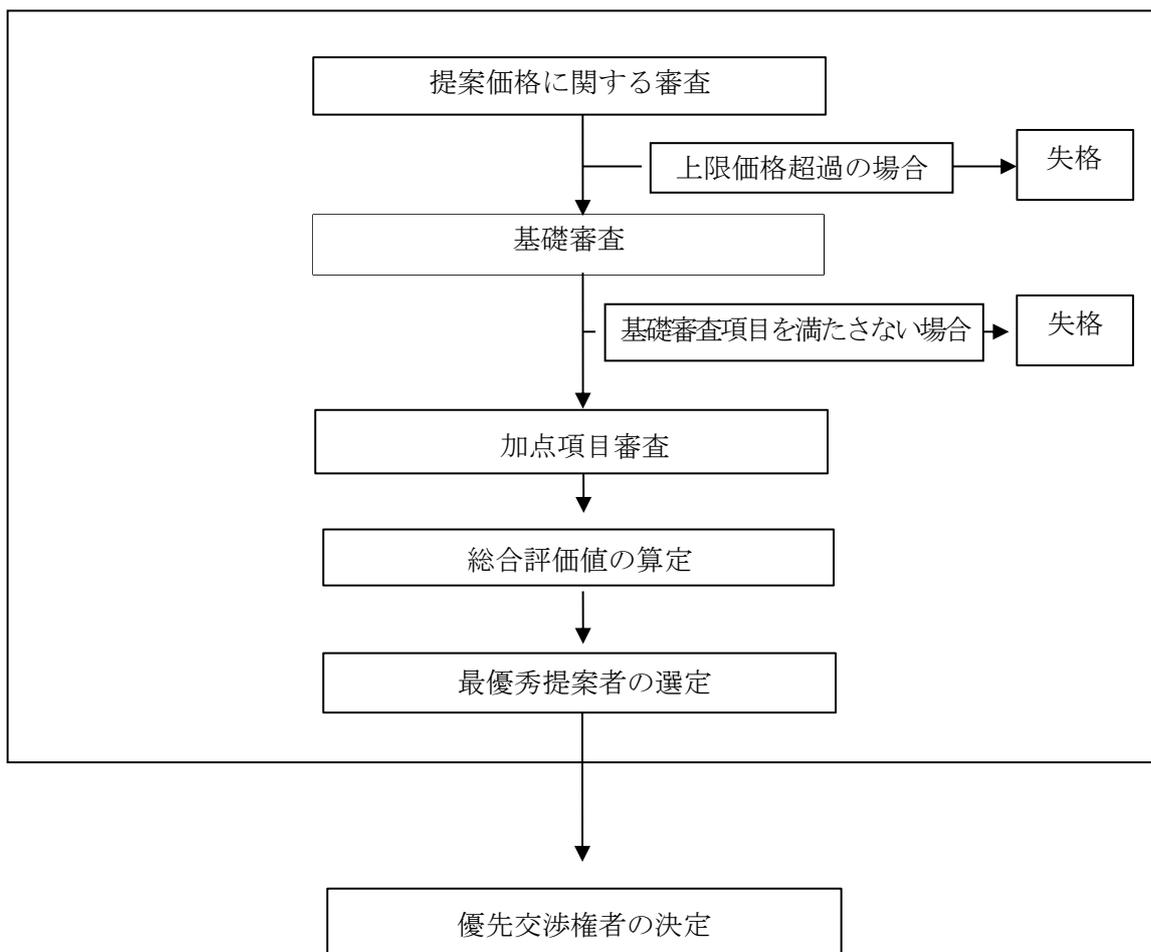
第3 審査の手順

審査の手順は、次のとおりとする。

1 参加資格審査（第一次審査）



2 提案内容審査（第二次審査）



第4 審査結果

1 参加資格審査（第一次審査）

2つのグループから参加資格確認申請に関する提出書類の提出があり，市は参加者が備えるべき参加資格要件（募集要項に規定されている要件）を満たしていることを確認し，委員会は報告を受けた。

参加グループの構成は次のとおりである。

グループ名	受付番号	グループ構成	
メフォス グループ	5191	代表企業 運営企業	株式会社メフォス
		設計企業 工事監理企業	株式会社石本建築事務所
		建設企業	株式会社合田工務店
		維持管理企業 その他企業 (調理設備調達)	株式会社中西製作所
		維持管理企業	三菱ビルテクノサービス株式会社
		維持管理企業	オリーブ美家工業株式会社
		その他企業 (エネルギーアドバイザー)	株式会社四電工
ジーエスエフ グループ	1021	代表企業	株式会社ジーエスエフ
		設計企業 工事監理企業	株式会社阿波設計事務所
		建設企業	サカケン株式会社
		維持管理企業 その他企業 (事業マネジメント)	株式会社合人社計画研究所
		運営企業	コーベフーズ株式会社
		その他企業 (調理設備調達・調理設備保守管理)	日本調理機株式会社

2 提案内容審査（第二次審査）

(1) 提案資料の確認

市は、第一次審査を通過した2グループから提出された提案資料を確認し、様式集に記載した必要書類を満たしており、不備がないことを確認した。

(2) 提案価格の確認

市は、提案書に記載された提案価格が2グループとも上限価格を超えていないことを確認した。

※上限価格

金 5,754,000,000 円

（上限価格は、金利変動及び物による増減額並びに消費税及び地方消費税を除く額である。なお、消費税及び地方消費税を加えた額は金 6,326,000,000 円を超えないこと）

(3) 基礎審査

市は、2グループから提出された提案資料の内容が、いずれも以下に示す基礎審査項目を充足していることを確認した。

審査項目	審査の視点
1 事業スケジュール	a 産業展示館の解体時期や給食センターの開業時期等の条件が満たされていること。 b 実現可能な事業工程となっていること。
2 資金・収支計画	a 資金調達の方法、金額、条件などが明示されていること。 b 事業収支の計算に誤りがないこと。 c 各種発生費用の項目及び算定方法に誤りがないこと。 d 年度ごとの極端なキャッシュフロー変動や資金不足がないこと。
3 施設計画	a 事業用地の範囲内に配置されていること。 b 諸室の室数、規模（室面積）及び仕上げ等について、要求水準が満たされていること。

(4) 加点項目審査

提案資料のうち、市が特に重視する項目（加点項目）について、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて加点項目審査点を付与した。

加点項目審査点は、評価項目ごとに下表のとおり 5 段階で評価し、全体で 70 点満点とした。

評価	判断基準	得点化方法
A	各評価項目に関して特に優れている	各項目の配点×1.00
B	AとCとの中間程度	各項目の配点×0.75
C	各評価項目に関して優れている	各項目の配点×0.50
D	CとEとの中間程度	各項目の配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	各項目の配点×0.00

加点項目審査の結果は、以下のとおりである。

評価項目		配点	5191 グループ	1021 グループ
(ア) 事業計画	1 事業実施方針，実施体制	3	1.50	1.65
	2 リスク管理の方針	3	1.65	1.65
(イ) 設計・建設	1 配置計画・外部動線・デザイン	4	2.80	2.40
	2 内部動線	4	2.40	2.40
	3 災害時対応	3	1.65	1.35
	4 施工計画	3	1.20	1.35
	5 地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	3	1.95	1.50
(ウ) 開業準備	円滑な供用開始に配慮した開業準備	3	1.80	1.65
(エ) 維持管理	1 維持管理体制及び品質管理	2	1.00	1.30
	2 修繕計画	3	1.35	1.95
(オ) 運営	1 魅力ある給食の提供	4	1.80	2.20
	2 食の安全確保・衛生管理	8	3.60	4.80
	3 アレルギー等対応	5	3.25	3.25
	4 配送・回収	5	2.75	2.50
(カ) その他	1 食育支援	3	1.65	1.65
	2 光熱水費の低減への配慮	3	1.80	1.35
	3 災害時対応・事故対応	3	1.65	1.95
	4 地域経済	3	0.90	2.10
	5 自主事業	5	2.25	4.25
合計		70	36.95	41.25

(5) 価格点の算定

提案価格を対象として、次に示す方法に基づき価格点を付与した。

- ・ 加点項目審査に進んだ全参加者のうち、提案価格が最低である 1021 グループを第 1 位とし、価格点の満点である 30 点を付与した。
- ・ 5191 グループの価格点は、第 1 位の提案価格（1021 グループの提案価格）と 5191 グループの提案価格の比率により算出した。算出した得点の小数点第 3 位を四捨五入した。

$$\text{価格点} = 30 \text{ 点} \times (\text{最低提案価格} / \text{当該提案価格})$$

各グループの価格点は下表のとおりである。

項目	5191 グループ	1021 グループ
提案価格	5,165,317,183 円	4,932,229,000 円
価格点	28.65	30.00

(6) 総合評価

委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、1021 グループを最優秀提案者として選定した。

$$\text{総合評価点} = \text{加点項目審査点 (最大 70 点)} + \text{価格点 (最大 30 点)}$$

項目	5191 グループ	1021 グループ
性能点	36.95	41.25
価格点	28.65	30.00
総合評価	65.60	71.25
順位	2 位	1 位

第5 審査講評

1 各加点項目の審査講評

各グループに対する加点項目毎の審査講評は下表のとおりである。

評価項目		審査講評
(ア) 事業計画	1 事業実施方針, 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、クラウド型サーバーの導入や業務の実施を具現化するための実績等が評価された。 ・1021 グループは、市が進める子育て支援の方針を反映した就労環境の整備や地元企業との連携についての提案が高く評価された。
	2 リスク管理の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、配送・回収に関する緻密なリスク管理や地質や地盤に関するリスクの検討が評価された。 ・1021 グループは、潜在的リスクの抽出や、不可抗力による施設の損傷・液状化などの保障特約保険等資金リスクへの対策が評価された。
(イ) 設計・ 建設	1 配置計画・外部 動線・デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、海風や塩害を防ぐ配置や、車両の出入を事務室から確認できる安全に対する配慮や駐車場の広さ等が高く評価された。 ・1021 グループは、来館者への配慮が見られる車両動線と、親しみやすい外観デザインが評価された。
	2 内部動線	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、ゾーニングや動線計画についての提案が評価された一方で、細かな作業や手作り調理を行う作業エリアの確保に課題があるとされた。 ・1021 グループは、午前・午後の作業エリアの配置や動線計画についての提案が評価された一方で、細かな作業や手作り調理を行う作業エリアの確保に課題があるとされた。
	3 災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、災害別の対応や、太陽光発電と蓄電池、マイクロコージェネなどの組み合わせのバックアップ等が多面的に用意されている点が高く評価されたものの、施設規模に対して妥当な設備かどうかについては疑問であるとされた。 ・1021 グループは、移動式回転釜の導入や平常時の熱源に加えてLPガスを準備すること等が評価された。
	4 施工計画	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、工事期間中の住民への配慮に関する提案が評価された。 ・1021 グループは、工事期間中に高校生や大学生インターンシップを受け入れる等、地元で親しまれる工夫が高く評価された。
	5 地球環境・ライフ サイクルコスト への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、省エネ機器の導入などが高く評価された。 ・1021 グループは、調理機器によるライフサイクルコストの低減や、故障時の即時対応に関する提案が評価された。
(ウ) 開業準備	円滑な供用開始に 配慮した開業準備	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、具体的なリハーサル提案や他施設における実践的な事前研修の実施に関する提案が高く評価された。 ・1021 グループは、地元での経験や全体リハーサルの実施に関する提案が評価された。
(エ) 維持管理	1 維持管理体制及 び品質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、緊急時におけるバックアップ体制やBMSを使用したモニタリングシステム等が評価された。 ・1021 グループは、緊急時に短時間で対応可能な地元企業を組み入れた体制と、現場で不具合を見つけやすいシンプルな管理体制と情報を共有する、情報管理システムが高く評価された。

	2 修繕計画	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、モニタリングシステムや診断機能等を活用した総合的な予防保全策が評価されたが、システム自体の複雑さから実現性については疑問であるとされた。 ・1021 グループは、通常修繕と計画修繕による経済性に優れた提案が高く評価された。
(オ) 運営	1 魅力ある給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、食べ残し抑制に向けた提案が評価されたが、食材の手切りや手作り給食提供の調理工程等に課題があるとされた。 ・1021 グループは、豊富な献立や残滓の軽量に向けての提案が高く評価された一方で、食材の手切りや手作り給食提供のための調理工程等に課題があるとされた。
	2 食の安全確保・衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、HACCP を踏まえた提案となっているほか、研修の実施等についての提案が評価された。 ・1021 グループは、HACCP を踏まえた提案となっているほか、研修の実施や衛生チェックの体制等についての提案が高く評価された。
	3 アレルギー等対応	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、アレルギー物質の混入を防ぐための配置と専任の調理従事者の配置について提案が評価された。 ・1021 グループは、将来的な対応品目の想定や、経験豊富な調理員を起用することについての提案が評価された。
	4 配送・回収	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、アレルギー対応食の誤配を防ぐ対応とノロウイルス対応の回収キット等衛生面の管理方法についての提案が高く評価された。 ・1021 グループは、効率的な配送計画と誤配を防ぐためのチェック体制、安全衛生に関するスケジュール設定の提案が評価された。
(カ) その他	1 食育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、親子料理教室の実施や、手洗いチェッカーによる体験等の提案が評価された。 ・1021 グループは、「五感」にスポットを当てた内容などわかりやすいエリアの設定が評価されたが、見学をする場合には研修室を必ず通らなければならない配置になっていることについては使用方法について検討が必要であるとされた。
	2 光熱水費の低減への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、マイクロコージェネや太陽光発電など多様な省エネシステムが提案されていることが高く評価された一方で、システムが煩雑であるため、本施設規模における現場での適切な運用の実効性と将来の改修計画については疑問であるとされた。 ・1021 グループは、シンプルな省エネ対策により確実に無駄なエネルギーを削減できる見通しがあることが評価された。
	3 災害時対応・事故対応	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、過去に1,000食分の炊き出しを行った実績や発電システムの導入等が評価された。 ・1021 グループは、移動式回転釜の導入やレスキューフードトレイルの導入についての提案が高く評価された。
	4 地域経済	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、多数の市内企業との連携についての提案が評価された。 ・1021 グループは、多数の市内企業との連携についての具体的な提案が高く評価された。
	5 自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・5191 グループは、ホームページにおけるレシピ紹介や社会福祉事業についての提案が評価された。 ・1021 グループは、地元企業との連携や健幸づくりの取り組み、郷土料理研究会の設立など、地域に根差した提案があること、さらに市内団体との共同イベント開催などの具体的提案があることが高く評価された。

3 総評

総評にあたり、コロナ禍において多くの事業が影響をうける中でも本事業に対して関心を持っていただいたこと、提案資料の作成にあたっての努力に対して感謝申し上げます。

今回、多くの企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから応募があった。提出のあった提案資料は、坂出市の食育に関する方針等を十分に理解し、これまでの各企業の実績を基に創意工夫が盛り込まれており、市の要求水準を上回る提案内容が示されていた。

メフォスグループの提案としては、綿密なリスク管理・維持管理計画や、防災広場としての活用を見据えたデザインなどの提案が特に評価された。

ジーエスエフグループの提案としては、確実な維持管理計画や、将来を見越したアレルギー対応、地元企業との連携や郷土料理研究会の設立などの地域に根差した提案、独自提案であるフードトレイルの導入についての提案が特に評価された。

これらの提案に対し委員会は、事業者選定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、株式会社ジーエスエフを代表企業とするジーエスエフグループを最優秀提案者として選定した。

今後、ジーエスエフグループは事業契約を締結し、長期間にわたる事業を実施することとなる。その際に、市とジーエスエフグループは、本事業が、坂出市の子どもたちにとって極めて重要な役割を担うものであることを再認識し、官民パートナーシップの精神に基づいた協議を行い、本事業の円滑な推進に努めていただきたい。

なお、最優秀提案者として選定されたジーエスエフグループが、市と事業契約を締結し、本事業をより良いものとするため、以下の項目について十分に配慮して整備・運営いただけるよう委員会として要望する。

- ・現在坂出市が自校式の学校で行っている野菜の手切りや、手作りメニューなどの良さを損なわない調理工程の作成と作業エリアの確保を行うこと。
- ・2時間喫食を実現するため、確実な作業動線の確保に努めること。
- ・手洗い施設を十分に設け、常に衛生的な作業環境を保つこと。
- ・高く評価されたフードトレイルの導入について、市と十分に協議を行い、有効な活用方法についての提案に努めること。